

年末年始のご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も取引先の皆様、従業員の皆様、ご家族、地域の皆様に多大なるご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。

さて、2022年は会社にとって一つの大きな節目の年となりました。3年目に入ったコロナ禍で世界中のサプライチェーンの混乱が続く中、弊社も受注変動の多い月が続きました。そして、顧客の環境変化にいち早く追従する為、この度、稲武の本社工場に機能を集約いたしました。稲武の本社にリソースを集約することで、変動に対して強い企業構造としていく事を目指して、従業員一丸となって取り組みます。

昨年は国の経済産業省から「はばたく中小企業 300 社」、豊田市から「働く人がイキイキ輝く事業所表彰・イキイキ大賞」の表彰を受けましたが、本年度は愛知県から「ファミリーフレンドリー企業表彰」を受けました。従前より取り組んでいる、「日本に残る強い製造業」でありつつ、「様々な人が長く働きやすい職場」への取り組みが改めて評価されたものだと確信しております。長期にわたり働きやすい職場への取り組みが、難易度の高い仕事に対応し、品質と生産性を上げ、会社ひいては従業員の為になると考えての取り組みです。人材育成と職場改善を目指す QC サークルに代表される全員参加の改善活動では、社外発表でも上位に入賞できるまでになりました。

また、2017年から始めた工業用ミシンの IoT 化の取り組みでは、12月に行われた国際アパレル機器&繊維産業見本市で特別セミナーに登壇し、プロジェクトについて紹介させていただきました。多くの縫製業界の方からお問い合わせをいただき、共通の課題と認識する事ができ、今後も業界の一助となれるよう精進してまいります。

来年度も本業を軸に、2030年のあるべき社会に向けて、課題先進地、豊田市稲武地区での取り組みが、時代を先取りした非財務価値の向上として評価されるよう、愚直に努力を重ね、時代を切り開いていく所存です。2023年も益々のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様が健やかに新年をお迎えになりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和4年12月28日

トヨタケ工業株式会社

代表取締役社長 横田 幸史朗